
光への系譜

無彩色

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

光への系譜

【Nコード】

N7108V

【作者名】

無彩色

【あらすじ】

十七歳の子供がいない世界。

一人の少年が居た。

彼がいたことで、それがその世界にどんな影響を及ぼしたか。それは、彼自身にも世界にも分からなかった。

始めに

注意

この小説にはBL要素が（たつぷりと）含まれます。

同性愛、腐女子、腐男子に理解のない方や、それを見て気分を害すという方、

見たら批判しちゃうかもと言う方は戻るボタンを押して下さい。

女の子も出てくるには出てきますが、如何せんサブキャラです。

メインに女の子が出てくることは殆どありませんし、女の子キャラが出てきても即退場とかになる可能性が多いです。

おま、そんなの許せん！って言う方は、ここでお引き返し下さい。

以上のことがおこな方、何が出てても太平洋のように広い心で許せる方のみ、どうぞお進み下さい。

世界観

全人類が、身体の中に「ID」、つまり身分証明書と呼ばれるチップを埋め込まれる世界。

魔法もあるけど、価値観や基本的な物は地球と対して変わらない。

身体の中にあるIDの完成度で個人の能力が決まるが、

ぶっちゃけた話IDはランダムで選ばれるので、親に完成度の高いIDは選べない。

つまり運。

運で今後の人生が変わる。

なんという勝負世界。

ストーリー開始の一年ほど前に「救済戦争」という戦争があり、十七歳の子供はいない。

一人一人に魔法の特性と言う物があり、それによって魔法の使い方などが変化する、等。

思い出

俺は二年生の教室の窓辺に腰掛けて、放課後の校庭を見下ろした。一年三年が入り乱れるそこに、しかし二年生の青いネクタイやリボンは見えない。

ゆつくりと日の光に手をかざす。

それに透かされた掌に、一枚のチップが見えた。

「ID」。

所謂身分証明書である。

この世界に生きる殆どの人間は、この世に生を受けた直後にIDを埋め込まれ、そしてそれと共に成長する。

IDは成長していくにつれ容量を増していき、そして中身が限界を迎えると人体が活動を停止する。

まあ、殆どの場合はこれが老衰による死亡、ってことなんだろうけど、希に交通事故なんかで急に限界値が下がって死んだりとかもあるらしい。

詳しくは知らない。興味ない。

つまりは、IDの停止こそが死亡を示し、死亡すると同時にIDが停止する。

昔聞いたところによれば、IDは胎内にある魔力を人体に影響を及ぼさないように最大限に抑える役目があるらしい。

ぐるり、と教室内を見渡す。

至る所に埃が積もり、俺が歩いてきた所には足跡が付いている。
生活臭なんて微塵もない部屋。

それは一重に、このIDの所為だったりするのだ。

約一年前、この世界全体を巻き込んだ大きな戦争があった。

原因は、IDの暴走。

当時十六歳だった少年少女たちに埋め込まれたIDだけが、一様に暴走を始めた。

本来抑えるべき魔力を放出し、それによって放たれた魔法が多くの人間を死に至らしめた。

それによつて、世界は一時的に滅びかける。

そして起こったのが、後に「救済戦争」と呼ばれる戦いである。

成人は皆剣や銃を持つてして十六歳を殲滅しに掛かった。

十六歳が爆発させた魔法により、多くの大人が死んだ。

そして、それよりも多くの十六歳が死んだ。

親を殺した子供がいた。

親に殺された子供がいた。

兄を殺した弟がいた。

兄に殺された弟がいた。

母を殺した娘。

母に殺された息子。

俺の、弟も。

戦争から一年たった今も、それは大きな傷跡を残していた。

結果的に、世界を救った「救済戦争」。故にこの名がつけられた訳だが、

十六歳の親や家族は、侮蔑と嘲笑を込め、その戦争をこう呼んだ。

「十六歳狩り」、と。

思い出（後書き）

お粗末様でした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7108v/>

光への系譜

2011年11月12日21時10分発行